



お気に入りの車の前で（釜座通） 昭和36年 井川 勝さん

私は3人姉弟の末っ子長男。二人の姉がおり 5 つ違いと 2 つ違いです。姉たちはそれぞれ弟の私を可愛がってくれました。自宅は府庁前の丸太町通の南側。子ども部屋の 2 階の窓から、丸太町通を行き交う自動車を見るのが大好きでした。

昭和 30 年代後半から 40 年代。我が国が著しい産業の発達で自動車が一般家庭にも普及し始めた頃でした。当時の自動車産業は日産とトヨタが台頭していて、経済的なホンダの車も人気がありました。ブルーバード、スカイライン、セドリック、コロナ、カローラ、マークⅡ、ホンダN 360. 車種を覚えて通る車の名前をよく友達と言い合いっこしていました。でも父親は運転免許証を持っておらず我が家にはマイカーがなかったのです。

それで、路上駐車が多かった府庁前の道路（釜座通丸太町上）で好きな車を見つけ、姉たちとポーズをとって写真を撮ってもらうのが唯一の楽しみでした。